

簡単なクラゲの飼い方 ～切り花的飼育法～

独立行政法人 水産大学校 生物生産学科
教授 上野俊士郎

海に漂っているクラゲを自宅で飼育することは難しくありません。チャレンジしてみませんか？ クラゲの簡単な飼育法を紹介します。

1 ステップ：採集

1月から5月頃の下関付近の海にはクラゲが多数います。海の穏やかな日に、唐戸棧橋などでもクラゲを見つけやすく、採集しやすいです。バケツや柄杓などでクラゲを水ごと採集し、空気を入れないようにパック容器などに密閉して持ち帰りましょう。カミクラゲ、ドフラインクラゲ、ミズクラゲなど

2 ステップ：飼育容器

ガラスコップや小型のプラスチック水槽で充分！ 通気やろ過の装置はいりません。飼育容器は2週間ごとに、きれいに洗ったものに交換しましょう。

3 ステップ：飼育水

採集時に飼育用に海水も採集しましょう。ペットボトルやプラスチック容器にいて、海水は室温で長期保存が可能です。1～3日に一度、飼育水の半分～全量を交換。飼育水が白く濁ったら、すぐに全飼育水と容器を交換がコツ。

4 ステップ：飼育水温

水温は自然とほぼ同じか、少し冷たいほうがよい。急激な水温変化がないように。また、直射日光を当てると温度変化が激しくなるので絶対ダメ！

5 ステップ：餌

熱帯魚店などで売られているアルテミアの休眠卵（ブラインシュリンプの卵）が一番。ふ化後一日以内のものが栄養価が高いので、30分以内に食べ尽くす量を毎日少しずつふ化させて、与えます。スポイドを使うと便利です。

しかし、アルテミアを食べないクラゲもいますよ

以上の5つのポイントをふまえて、クラゲ飼育にチャレンジしてください。困ったときは次のメールアドレスにお尋ね下さい。

jellies@fish-u.ac.jp

また、研究室のホームページもクラゲ飼育の参考によろしく。

<http://www2.fish-u.ac.jp/jellies/>

